

**SNW「学生との対話イン山形 2016」
事後アンケート結果報告 (2016/12/5 実施)**

報告者： 三 谷 信 次

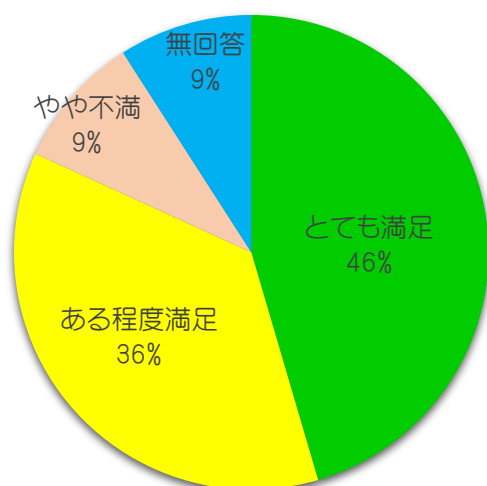
対象学生：山形大学工学部電気電子工学科 3 年生 44 名

注：アンケート回答の記述内容は、すべてについてそのまま記載した。

記載文の内容から学生達の感じたところを読み取って下さい。

アンケートから出てきた重要ポイント 10 点を最後に記載しました。

(1) 講演の内容は満足のものでしたか。その理由は？



【とても満足】

- ・原発について詳しく知る事ができた。
- ・大人の方達と原子力について対談する経験が出来たから。
- ・話が難しく、すべてを理解することはできなかったが、面白い話だったから。
- ・原発後の話を聞く事が出来たので。
- ・原子力発電についての見方が変わったため。
- ・貴重なお話を聞かせて頂いたから。
- ・専門的ところで現状が分かったから。
- ・原発の厳しい現状を知る事が出来たから。
- ・いつもは話しづらい話題を中心に見識を深め意見を聞いた。
- ・原子力発電について分らなかったことが理解できた。
- ・福島第1原発のこれまでの経過を説明してもらった。まだ廃炉、汚染水の問題が解決に至っていないことが分かった。
- ・原子力発電所がどのような状態なのかよく分かった。
- ・シニアの方からだからこそ聞ける話を聞く事ができた。
- ・自分の知識の無さを知り、もっと学ぼうと思った。

- ・質問しないことなどすべて答えてもらえたため。
- ・福島第1原発の基本的事項をしっかりと学べた。
- ・自分が聞きたかったことが聞けたから。
- ・話を交わすという能動的な機会があったので。
- ・実際に現場に出た人と話すことが出来たため。

【ある程度満足】

- ・難しい内容であったため、もう一度じっくり考える必要があったから。
- ・難しいワードが多くあり、少し理解できなかった部分もあったため。
- ・福島第1原発を例に原発の現状がよく分らなかったから。
- ・新聞やテレビで見ただけでは分からないことを知る事が出来た。
- ・福島原発の現状を詳しく知る事ができたから。
- ・福島の原発が抱える今後の問題が見えた。反省し、次へ活かす事が分かった。
- ・福島の現状とその後を知れた。
- ・自分達とは違った目線での対話をもっと知識があれば良かったと思う。
- ・原子力について理解を深められた。
- ・原子力についての理解を深める事ができた。
- ・専門的な方からの説明により、改めて現状を理解できたから。

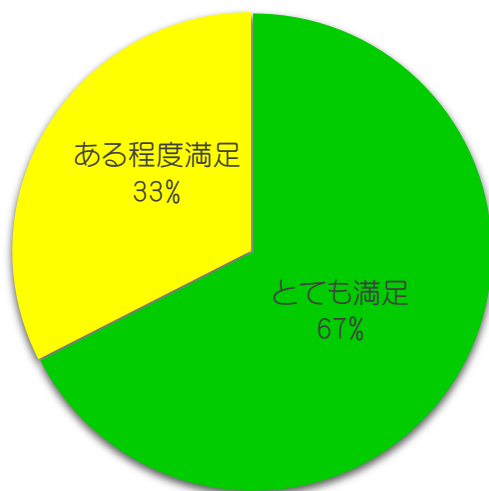
【やや不満だ】

- ・多少難しい話であったため、理解が追いつかなくなった。

【無回答】

- ・福島第1原発について今後どのようなことがあるのか知る事が出来た。
- ・内容が難しかった。
- ・難しい事が多くて、理解でできない所があったため。
- ・あまりにも難しかった。

(2) 対話の内容は満足いくものでしたか。



【とても満足】

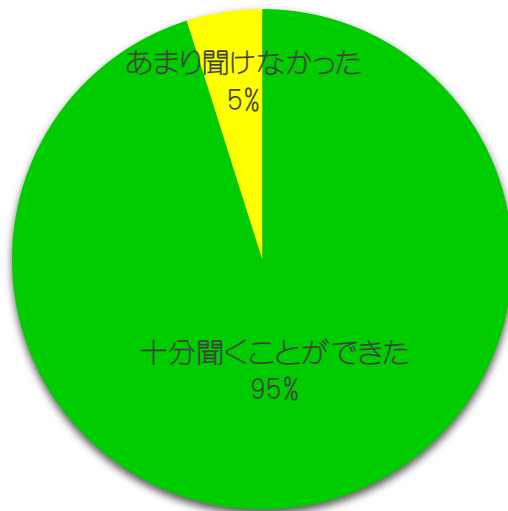
- ・原子力やエネルギー政策に関しての正しい見方や考え方を学ぶ事ができた。

- ・自分の質問に対して詳しくより掘り下げて話して下さったから。
- ・専門の方達にしかできないような質問や議論が出来たため。
- ・講義では聞く事ができない原子力について聞く事が出来たから。
- ・普段話さないような事が、専門家から直接聞く事ができたため。
- ・専門の方々のお話を聞く事ができ、とても良い機会だった。
- ・原子力に関してより深く知れたので。
- ・原子力に関わってきた人だからこその話を聞く事が出来たため。
- ・意見を交わすことが出来たから。
- ・自分で調べても知る事のできない真実というものが分かったから。
- ・シニアの方だからこその話を聞けたから。
- ・専門家の方々から貴重なお話を聞けたから。
- ・自分の抱えていた疑問に答えて頂き、またその他の事についても色々教えていただいた。
- ・今の現状について知る事ができた。
- ・もっと知識を深め、真実の判断する力が必要だと分かった。
- ・原子力発電について分らなかったことが理解できた。
- ・実際に一線で活躍していたシニアの方達と対話できて貴重な経験となった。
- ・再生可能エネルギーの問題点について話せた。
- ・原発について理解を深める事ができた。
- ・質問したいことなど全て答えてもらえたため。
- ・質問を丁寧に答えて頂き、話も非常に分かり易かった。
- ・自分の聞きたかった専門家の意見が知れたから。
- ・多くの知識を得られ、多くの面からの考え方を知れた。
- ・今まで浅かった知識が少しだけでも深くなって、これからも理解していこうと思った。
- ・実際に現場に出た人と話せた事が出来たため。
- ・普段あまり関心の寄せない事を教えて頂いた。

【ある程度満足】

- ・質問もできたし、普段聞けない専門家の視点から話を聞く事が出来たから。
- ・生の声を聞かせて頂いて有り難かったが、事前の質問・回答と重複する点が多かった。
- ・元エンジニア、教授の方々の話は新鮮だった。
- ・自分の中の疑問が解決したから。
- ・自分の知らない情報を得る事が出来たため。
- ・知識を持つ人と会話することにより、原子力についての知識を得て、深める事ができた。
- ・もう少し対話の時間が欲しかった。
- ・人数に対して会話時間が足りなかった。
- ・エネルギー事情を理解できた。
- ・原子力発電について正しく知識が得られた。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか。

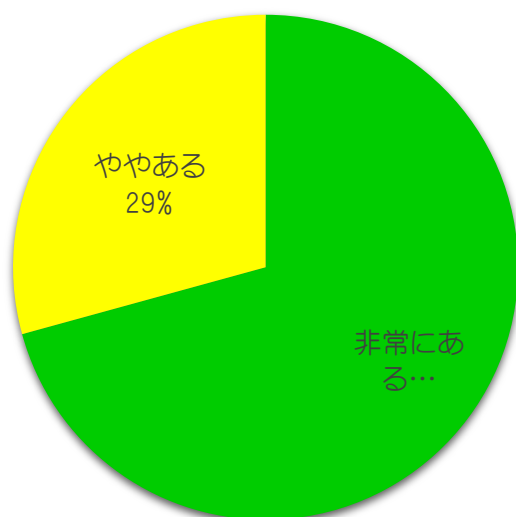


(4) 今回の対話で得られた事は何ですか。

- ・原子力への正しい認識や今後のエネルギー政策に対してどのような見解を持つか。
- ・リスクに対して具体的にどのような対策を行っているか知る事ができた。
- ・シニアの方々と話す機会、原発の安全性についての理解。
- ・教科書などでは得られない経験などに基づいた知識。
- ・原子力の実際。
- ・原子力発電に関する教養が深まった。
- ・原子力発電・ベストミックスへの理解。話し合うことの大切さ。
- ・メディアによる原子力の報道のみならず、よく深く知る事が大切。
- ・一般市民はマスコミなどにより原発に対して反対ではなく、不安を感じているだけであるという事を知る事ができたこと。
- ・原子力の必要性。
- ・自分の意見と比較することで、意見を深める事ができた。
- ・多くの情報の中から真実と偽りを見分けられる力が必要ということ。
- ・原発の詳しい実状。
- ・原子力に対する正しい知識。
- ・エネルギーについて世間の人々が自ら学ぶ必要がある事。メディアに流されない。
- ・メディアの情報を鵜呑みにせず取捨選択する力を身に付けることが必要である。
- ・マスメディアの本質。
- ・マスコミがやたらと悪いことばかりを目立たせている事。
- ・原子力に関する正しい知識を持っている人が少ないので、正しい知識を持ち、広めることが大事。
- ・原子力発電に対する世論の動きと必要性。
- ・人に対して説明するために自分の知識を深めなければいけない。
- ・原子力発電に対する正しい知識。
- ・メディアに対しては見極める力が必要だと分かった。
- ・多面性を見て、物事を考える必要がある事。

- ・原子力に関する知識や自分の考えが深まった。
- ・再生可能エネルギーには限度がある。
- ・原子力は今後の日本に必要な不可欠。
- ・1つの問題に対して多面的に考えることの大切さ。
- ・原子力についての認識を改めさせられた。
- ・「対話」の難しさ。
- ・自分の意見を持つこと。
- ・対話の姿勢について、質問+議論をするには深い知識が必要という事。
- ・原子力に対する知識と、自分の知識の無さを知る事ができた。
- ・専門家の方も自分と同じ様にマスコミの報道の仕方を不満に思っていたこと。
- ・コミュニケーションを取るために必要な準備と心構え。
- ・立場の違う方との対話で議論で取り上げた問題に対して多角的に見れるようになった。
- ・説明できることの大切さ。
- ・対話というもの、原子力発電についての正しい知識。
- ・原子力に対する理解。
- ・エネルギー（ベストミックス）における原子力の重要性。
- ・新たな知識、興味を持つことの重要性。

(5)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか。



【非常にある】

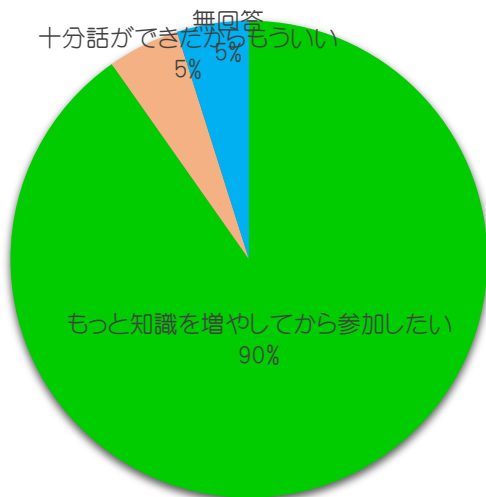
- ・専門家としての意見を聞く事ができるため。
- ・経験のある方々と話せる機会がこれまでなかった。このような方々と話をし、知識を得られるから。
- ・普段できないことを授業の一部として参加することで新しいきっかけをつかめる。
- ・学生とは全く違った視点での議論ができ、必ず得るものがあると思うから。
- ・原子力について理解を深めることができ、貴重な経験であるから。
- ・普段の生活では学生間などばかりで、このように年上の方と話し合う事がないから。

- ・実際に対話をすることで、より深いことを学べる。
- ・実際にシニアの方との対話をするすることで、その分野の方々と話すことができる良い経験になるため。
- ・年代を超えて話し合うことには意味があると思うから。
- ・座学では学ぶ事のできない貴重な体験ができたから。
- ・知識のあるシニアとの対話によって学生同士の会話では得られないものが得られるから。
- ・自分達に足りないものを自覚させてくれる。
- ・新しい知識を得て有意義な時間を過ごすことが出来た。
- ・過去のことや実際のことなど、自分達が持っていない知識を持っていらっしやっただので勉強になった。
- ・実際にエンジニアとして働いていた方の話を聞く事は貴重な機会であり、働いてきた経験から話を聞く事は良い機会となる。
- ・細かいところまで聞けるため。
- ・実際の現場や現状を知る事が出来るから。
- ・社会、企業を知っている人と話をすることは社会の実情を知るのに有益であった。
- ・自分達が分からない事などがはっきり答えて下さるので知識を増やす良い機会だと思う。
- ・知識のない学生に真剣に向き合ってくれた。
- ・発電の現象を知る必要がある。
- ・テレビや新聞での情報では得られない生の意見が聞けた。
- ・普通の講義では得られないものを得ることが出来る。
- ・実際に原子力の仕事と関わっていた人達に話を聞けるから。
- ・対話をすることで間違いに気付く事ができるから。
- ・意識が大きく変わる。様々な面で。
- ・原子力発電の存在する理由を正しく知るにはとても良い機会になるから。
- ・このような機会があまりないから。
- ・この一歩が学生を奮い立たせるきっかけになりそう。
- ・普段聞けないような話が聞けるため。

【ややある】

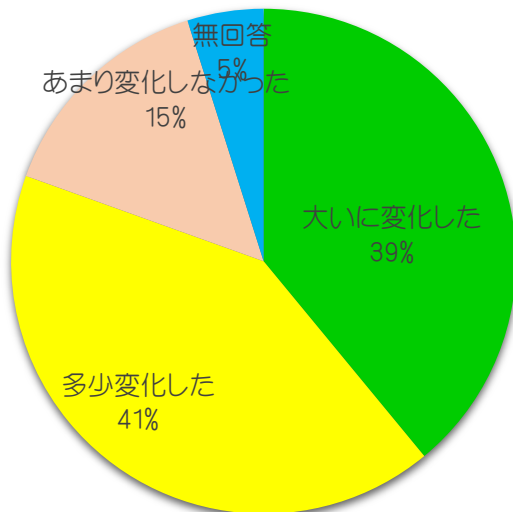
- ・貴重な体験なので学生のうちに出来て良かったと感じられるから。
- ・このような機会はめったにないから。
- ・授業では分かる事がない背景のことを知れるから。
- ・様々なものに対する知識を持つ必要性を感じた。
- ・「議論」ができる（普段はできない）
- ・実際に原子力に携わった人の話は具体性があり、自分にも知識がないと対話は難しいが、実のあるものである。
- ・学生のうちにこのような体験はしないので、物事を広く見れるように感じた。
- ・将来就職してからなどで役立つと思った。
- ・コミュニケーション能力を養うためにも必要である。

(6) 今後、機会があれば再度シニアと対話に参加したいと思いますか？



- ・議論をするには知識が必要であるから。
- ・知識不足を感じた。

(7) エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？その理由は？



【大いに变化した】

- ・日本のエネルギーに自給率が低いことを知れたから。
- ・メディアを容易には信じてはいけない。
- ・再生可能エネルギーについてまだまだ知らない事があった。
- ・ウランの埋蔵量を見て。
- ・エネルギー不足と言われていても、世間がいつもと変わらない生活をしている現状で、これは少しまずいと思った。
- ・原発の重要性を知り、原発がどの程度発電に貢献していたのか改めて知った。
- ・エネルギー資源の枯渇が迫っているのがデータからでも明らかだったため。
- ・日本のエネルギー自給率の低さと輸入コストが高いことが分かったから。
- ・原発の本当のメリットを知る事が出来たから。

- ・もっと身近に迫っているものだと思った。
- ・原発が日本のエネルギー供給を大いに支えられているので、原発がないと再生エネルギーがな
どに頼らないといけない。
- ・原子力発電が稼働する事のメリットを大いに感じたから。

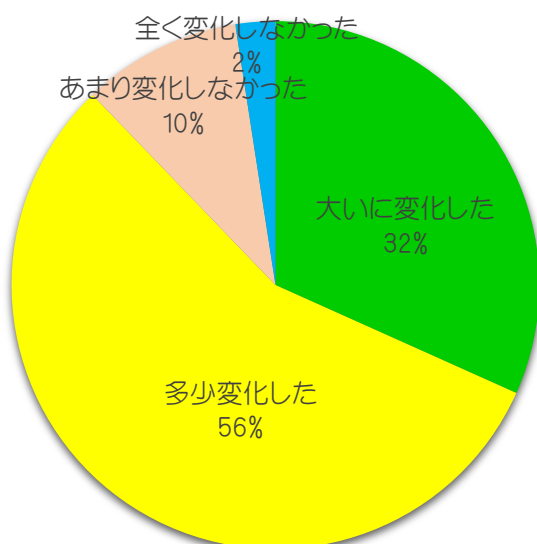
【多少変化した】

- ・原子力だけが危険でないなど知れた。
- ・エネルギーミクスを考えるようになった。
- ・ネットで分からなかった問題点を対話を通して考えることができた。
- ・特に日本は危機的であると感じた。
- ・感情的な理由だけで考えることができないと感じた。
- ・自分が思っていたことに加えて原子力の安定さを改めて分かった。
- ・原子力の必要性をより確認できた。
- ・話を聞く前よりはエネルギー危機に関して興味を持つことが出来たので。
- ・今のエネルギー供給が原子力がないため不安定であると感じた。
- ・元々あった知識に根拠がしっかりしたため。
- ・自分で調べると経済的にも大きな損害がでていることが分かった。
- ・原子力の必要性を強く感じたから。

【あまり変化しなかった】

- ・自分が持っていた意見と大きくは変わらず意見を深める事が出来たから。
- ・考えていたことをあまり変わらなかった。
- ・特に変わらない。
- ・もともと原子力には賛成でエネルギーミクスについて講義で学んだから。(20/41)
- ・元々危険だとは思っていたが、必要なものである。
- ・思っていた通りだったから。

(8) 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？



【大いに変化した】

- ・以前より原子力の重要さを感じた。
- ・対話前は原発について不安を感じていたが、今回の対話によって不安が解消されたため。
- ・もっと原子力を使うべきであると思った。
- ・きちんと対策をとれば安全である。
- ・安全性をよく考慮されたものだと分かったから。
- ・原発は危険なものという認識があったが、実際には安全であり（安心ではない）その認識を改めるきっかけになった。
- ・ニュースで言われているほど放射能の影響がないこと。
- ・デメリット、メリットが自分が思っていた以上にあったため。
- ・自分が考えていた以上にリスクに対する対策がとられていると感じたから。
- ・原子力のデメリットが低いと感ずることができたから。

【多少変化した】

- ・メディアが誇張して報道することに気付いたから。
- ・元々原発賛成だったが、より原発の必要性を知れたから
- ・原子力は有用であることがわかった。
- ・原発の必要性は理解していたが、新たな必要性の見方を考えたから。
- ・知識が増えたから。
- ・原子力だけが危険ではないという事が分かったから。
- ・もっと原子力に対する理解が重要で、不安は取り除くことができる。
- ・リスクは自分の思っているより防げることが分かった。
- ・対話と女川見学でメディアとの違いを感じた。
- ・効率は良いわけではないのだが、多くの面で優れている。
- ・事前に色々調べてある程度知識があったから。
- ・原発の有能さも知ることができた。
- ・「原子力は怖い」という認識のもとで、その必要性を感じたから。
- ・女川原発に行き、原子力に対するイメージが変わった。そのことを含め、更に議論をし、考えが変化した。
- ・元々あった知識に根拠がしっかりしたため。
- ・元々持っていた意見とほぼおなじであった。
- ・原子力に関してより学ぶことが出来たので。
- ・現実的な話を聞いたから。
- ・メディアに流されず、自ら学ぶ事でどっちつかずではなくなると思う。

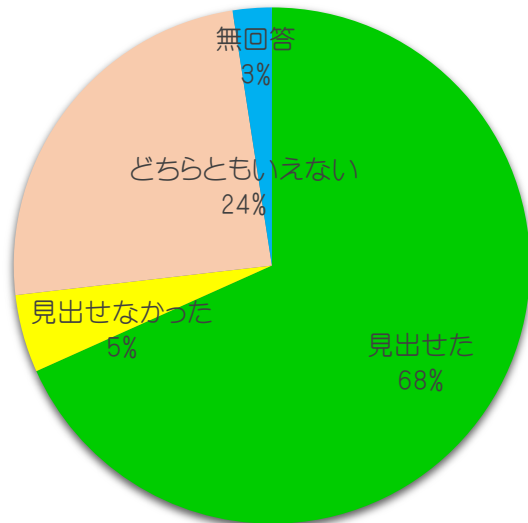
【あまり変化しなかった】

- ・自分が持っていたイメージと大きく変わらなかった。
- ・考えていたことをあまり変わらなかった。
- ・思っていた通りだったから。
- ・元々原子力はメディアがいうほど危険でないと思っていたが、より安全だと分かった。

【全く変化しなかった】

- ・もともと必要だと思っている。

(9) 今回の対話で自分の学科と関連性を見出すことができましたか。その理由は？



【見出せた】

- ・エネルギーと大いに関係があった。
- ・なかなかできない経験ができた。
- ・原発の仕組み
- ・電力と原子力は非常に密接な関係にあるから。
- ・原発の原理を授業で少し学んだので興味を持てた。
- ・電力を学んでいるので。
- ・電力だから。
- ・エンジニアとして目指すものが分かった。
- ・蓄電？電気の話をしたので。
- ・電力工学。理解が深まった。
- ・安全と安心は別問題で他人の理解を得る取り組みはどの分野でも重要である。
- ・電力に関する内容だから。
- ・自分が専門としている学科であるから。
- ・同じ電力事業者として考えなければいけない問題だと思ったから。
- ・原子力は様々なものに応用できる可能性を持っていると感じたから。
- ・将来自分も電力を考えてみたいと思ったから。
- ・発電所見学が役に立ったから。
- ・発電という分野において見いだせた。
- ・原発を稼働させるためには、やはり電力が必要であるため。
- ・エネルギーの生産などこれまで学んだ分野を具体的に知れた。
- ・エネルギー問題にしてもしっかり勉強し知識をもっと必要がある。
- ・電気の学生として発電はとても喚起のあることだと思うため。
- ・講義で原子力について習っているから。
- ・電力の問題として関連性はある。
- ・電力供給の現状を見ることができたから。

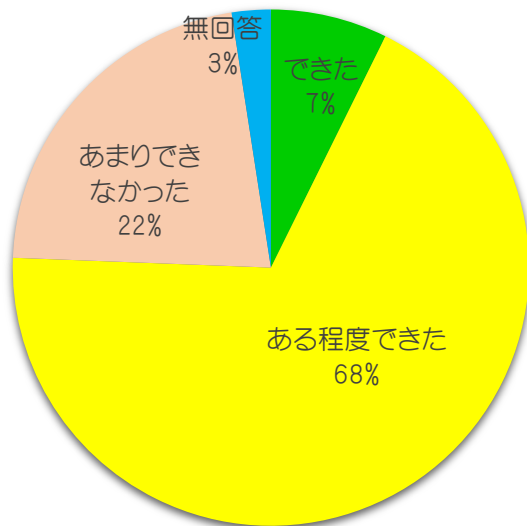
【見出せなかった】

- ・ 初歩的なことしか対話できなかった。

【どちらともいえない】

- ・ 必ずしも将来に必要となる知識ではないから。
- ・ 電力に限った内容なので全ての関連性は見いだせないと思ったから。
- ・ 自分の学科とのかかわりはよく分からなかった。
- ・ 電気電子工学という面ではあまり関連性を見いだせなかった。
- ・ 今学んでいる知識では足りないそういった講義を増やす必要性があると感じた。
- ・ 化学的な話が多かったから。

(10) 対話の内容から将来のイメージができましたか？その理由は？



【できた】

- ・ 具体的な話を聞いたから。
- ・ 福島原発についての対策を教えて頂いたから。

【ある程度できた】

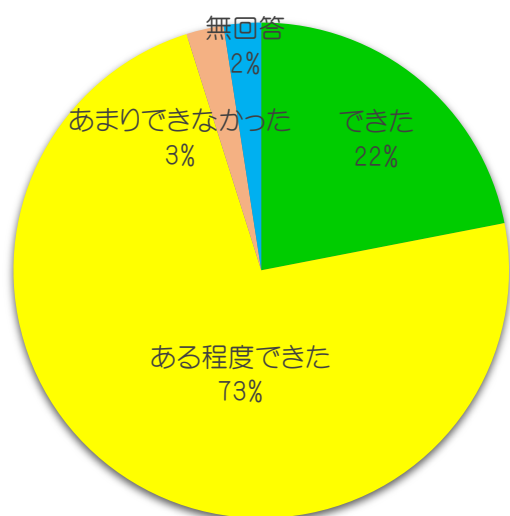
- ・ 原発を稼働させないことによるデメリットが大きいことを知ったため。
- ・ 原子力発電を安全に使う事ができるように技術向上を目指したい。
- ・ 広い考えが少しでもできるようになりたい。
- ・ 自分達の使っている電気についてのエネルギーの詳しい理解ができた。
- ・ メリット、デメリットとコミュニケーションの取り方を議論し、現在すべきことを議論することが出来たから。
- ・ なかなか聞く事のできない話を聞いたから。
- ・ これから何を学んで何をやりたいかの参考になった。
- ・ 山形の未来についてイメージができた。
- ・ CO₂の排出を減らしつつ、現力を供給するには原子力発電が必要。
- ・ 再稼働に賛成という意見をもつことができたため。
- ・ 技術者として知識を深め、理解を広めていかなければならないと感じた。

- ・電力会社に就職したいから。
- ・自分達がどのような対応をしていけばいいのかをイメージできた。
- ・将来的には原発の知識が付き、原発賛成が増えると思う。
- ・将来原子力関係の道に進むかは分からないが、そういった分野もあるという事も知れたから。
- ・電力関係に就職できなくても原子力の必要性などを多くの人に伝えられたと思ったから。
- ・僕たちのような若者が原発の有用性を周りに発信していくことにより、時間がかかっても賛成の意見に傾くようになるとシニアの方に言われたため。
- ・今まで原子力などの発電について考えていなかったもので、将来このような分野の仕事もありなのではないかと思った。
- ・知識をもって物事を判断することが大切。
- ・原子力は結局使われると思った。
- ・エネルギー危機的状況を見られたから。

【あまりできなかった】

- ・資源等先行きが明確でないため。
- ・あまり自分の将来に直結していくイメージができなかった。だが原子力の将来性については考え直せた。
- ・電力関係よりも医療関係で働きたい。
- ・将来自分がどういった職につくかはまだ分からないため。
- ・将来とは直結しないため。
- ・再生可能エネルギーもこの開発次第だと思うから。
- ・自分のやりたいことはまた別にあるため。

(11) 対話の中でシニアが思う若手の役割を理解できましたか？またその理由は？



【できた】

- ・この分野で初学者するような質問にも答えてもらった。
- ・対話をする中で自分の至らないところを認識させてもらったから。
- ・真実と偽りを見極め正しい情報を身につけることが必要。

- ・シニアから教わったように僕たち若者が原発の有用性を知らせていくべきである。
- ・原子力について世論に惑わされず、真実を発信しなければならないと思えたから。
- ・これから将来を担う我々に。

【ある程度できた】

- ・直接皆に求められることを教えて頂いた。
- ・僕らには非常に期待をされている。
- ・まだ不完全である原子力はこれからも発達する必要があると感じた。
- ・原子力技術の向上
- ・勉強して正しい知識を周りに伝えたいと思った。
- ・シニアの方々から色々なことを学ぶ事ができた、
- ・未来を担うということを確認できた。
- ・必要な事を聞けたと思う。
- ・まだ知識不足だった。
- ・誤った知識だけで決めつけない。
- ・もっと知識を持ち、同じ若い人同士が社会について話し合い、正しい見識を持つことが重要だとわかった。
- ・原子力に対する一般の人の理解を深めることが必要だと思ったから。
- ・これからの若手は原子力について学び、原発は安全であるということを知識をつけて理解していかなければならないと感じた。
- ・岩手から発信していく必要があると思った。
- ・もっと知識を増やしてさらに他の人々に拡散することが求められていると思ったから。
- ・原子力の安全性について一般の人に理解してもらうことが必要であると思ったから。
- ・今度は我々が役割を担っていくから。
- ・シニアの方と若い方では考えが違うので、若手ならではの考えを出していきたいと感じた。
- ・これからの時代を担っていく。
- ・未来を担うべき存在。
- ・これからの未来を担う自分達への期待を感じたから。

【あまりできなかつた】

- ・前知識が足りなかつたため、深く話し合う事が出来なかつた。
- ・シニアからうけとるばかりでシニアの方に影響を与えられたとは思えないから。

(12) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば書いてください。

- ・発電に対する意識が大きく違っていることを話より感じたから。
- ・より良いエネルギーを発電させるものが必要である。
- ・何も理解せず曖昧な知識を改めるべきだと気づくことができた。
- ・原子力発電も必要だと思った。
- ・違いがあつた。リスク＝確率×規模 であるおっしゃっていた。僕はリスク＝規模だと思っていた。
- ・考えに変化はあまりなかつたが、見方について広くなれたと思った。
- ・考え方の深さが一番目立っていたように思う。シニアと違い、若者は詰めが甘いと感じた。

- ・正しく伝えるには自分が学ぶことだとシニアの方は思っていること。
- ・シニアの考えを聞いて若い人により興味を持って分野に関わってほしいと考えているのが分かったので、より興味が出た。
- ・再生エネルギーへの考え方が変わり、原子力の必要性を益々感じた。
- ・メディアの監視が必要。
- ・長い間生きていたことによって感じるメディアや教育への考え方がよりしっかりしていい、情報より正しく知ろうと努力なされていた。
- ・メディアに対してもっと排他的であることが違っていた。
- ・マスコミに対対する考え方が変わった。
- ・若手は基本的にメディアに頼りニュースで危険といった認識があったが、シニアはしっかりと知識を持ち、ニュースを信じきらないというように感じた。
- ・メディアリテラシーの必要性、知識を増やす必要がある。
- ・原発に賛成すること自体は間違いではないが、現状数年しか経っていないということを知った。
- ・知識を持った人の考えを聞くことにより、本質の部分も知れた。
- ・シニアの考えを聞く事で自分達に求められる力は何かを知り、主体的に学んでいきたいと感じた。
- ・シニアの方は詳しく知っているのもので。
- ・若い考えを考慮していきたい。
- ・専門的な知識を持っているので説得力を感じた。
- ・深い知識に触れて監視が強くなったと思う。
- ・エンジニアとして原子力についてもっと知識を深めていかなければならないと感じた。
- ・シニアの方々との対話を通して興味をもって物事に取り組むことが大事であると感じた。
- ・安全の備えがあるという事。
- ・現場をしっている方との知識のみの違いを感じた。

(13) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・来年度も是非開催してほしい。
- ・とても有意義な時間でした。
- ・非常に良い企画だと感じた。また参加したい。
- ・なかなかできない企画なので今後も続けてほしい。
- ・シニアとの対話前に昨年の対話の様子を紹介した方が参加者が増える事と思った。
- ・元エンジニアの話が聞ける、なかなかない機会だった。
- ・何も知らないとシニアの方と議論もできないので、知識を蓄えないといけないと思った。
- ・対話の時間や発表のパワポの作成の時間がもう少し欲しかった。
- ・後半の時間が短すぎて PP での発表内容が不十分なものとなってしまった。
- ・非常に充実した時間になった。機会があればまた参加したい。
- ・貴重な体験ができた。
- ・講義では得られない知識を得ることが出来た。
- ・さらに少人数での対話の方が意見交換が行えると感じた。
- ・シニアの方々が知識のない私達に対して親身になって話をしてくださり、非常にありがたいと

思った。

- ・良い機会だった。
- ・今回はとても貴重なお話を聞くことができました。このような機会をもっと増やしていけたら嬉しいかなと思いました。
- ・まとめの時間が短すぎる。
- ・普段では聞けない話を多く聞けたので良い経験になった。
- ・面白かった。

● アンケート結果から出てきた重要ポイント 10 点

- 1) 学生の中には事前に女川原発を見学した人達が何人かいて、見学前と後とで目から鱗、180度考え方が変わったという。「百聞一見にしかず」である。
- 2) 見学してマスコミが伝えるほど原発が危険でないことが分かった。
- 3) マスコミが言うほど一般市民の人達は原発反対というわけではなく、シニアの話のような正しいことが伝わってなくて不安を持っていることが分かった。
- 4) まだまだシニアと対等な議論等できない。もっと知識を深めてから再度議論したい。
- 5) 講義(電力工学)だけからでは得られない、シニアの貴重な話、経験が聞けた良い機会でもあり、充実した時間であった。
- 6) 対話前に昨年の対話の内容を学生に知らせて頂けていればもっと議論できた。
- 7) 今回が初めての対話経験であった。初心者への質問にもシニアはよく回答頂いた。
- 8) とても良い企画だ。来年も是非参加してみたい。
- 9) シニアとの対話で、
リスク＝確率 X 災害規模 と分かった。
これまで自分は リスク＝ 災害規模 とばかり錯覚していた。
- 10) 原発を再稼働することの意義が、シニアの話を聞いて、これまで自分が思っていたことと大きく異なることが分かった。

以 上